



## 会長あいさつ

曾於市農業委員会

会長 原田 石郎



農業委員会だよりの発行にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

皆様方には、かねてより農業委員会の運営・業務に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在、国においては平成17年3月閣議決定した「食料・農業・農村基本計画」を基に担い手の経営に着目した経営安定対策への転換や、担い手への農地の利用集積の促進など大きく7項目に取り組んでおり、平成20年度で3年目に入ることとなります。

一方、日本の農業は少子高齢化の進行や外国からの農畜産物の輸入により大きく圧迫されており、曾於市においても高齢化の進行や担い手の減少等により優良農地の荒廃が進み遊休農地も増えつつあります。

私たち農業委員会では平成19年8月から9月にかけて農地パトロールを実施いたしました。その結果、曾於市内で約100㌥の遊休農地が判明しました。

農地が荒れたことについては、それぞれ理由があると考えられますが、農業委員会ではこれらの現実を直視ながら、農政等についてこれからも市へ建議してまいります。

また、農業経営の確立と経営改善の状況や課題について認定農業者との意見交換会も実施しました。これらの会でも出されました貴重な意見については国や県に政策提言をさせていただきます。

曾於市農業委員会では住民の意思を尊重しながら曾於市の基幹産業である農業を守り発展させるため、優良農地の確保、有効利用、担い手農家への農地の集積、遊休農地の解消等に積極的に取り組み、地元に通じた農業委員が統一的に、また公平・迅速に対応するよう取り組みます。

我が組織では平成17年7月1日合併してから、農地部会方式にて運営をして参りましたが、曾於市行政改革大綱及び組織機構の再編計画を受けて、平成20年4月から総会方式へ移行することとしております。

今後とも、行動する農業委員として、農家や地域の期待に応えられるよう努力していく所存でございますのでご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

